ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

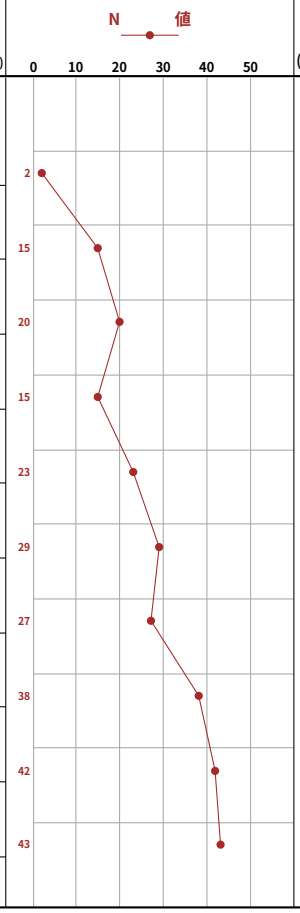
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1	調査位置				北　緯	36 ° 34 ' 50.8000 "
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2009-02-27 ～ 2009-03-02	東　経	140 ° 00 ' 16.8000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	117.35 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	10.45 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	115.85	1.50	1.50		シルト (M)	黒褐～暗灰		非常に軟らかい	0.40mまで耕作土，含水上位，粘性上位 シルト主体に粘土・軽石混入 植物根多い，圧縮性に富む 下部腐植物，有機物混入		02/27 0.90
	115.25	0.60	2.10		砂礫 (GS)	淡青灰～暗緑灰	中ぐらい		φ5～30mmの亜円礫・亜角礫主体とする。 マトリックスは中～粗砂で充填 所々粘土分混入，ルーズで崩れ易い		
					粘土混り砂礫 (GS-C)	灰茶褐～暗灰褐～灰茶褐	中ぐらい		上部礫混じり砂質粘土層を薄く挟む [4.00]φ2～30mmmの亜円礫・亜角礫主体 マトリックスは凝灰質の粘土質砂で充填 全体的に細砂・粘土分等の細粒分多く混入 6.00m付近まで崩壊性有り [7.00]コア長50～60mmの礫を希に混入 [8.00]部分的に薄く粘土質砂層を薄く挟む 風化礫を多く含む		
	106.90	8.35	10.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1		2/31	2
1.46	18	13			
2.15	5	7	3	15/30	15
2.45					
3.15	6	7	7	20/30	20
3.45					
4.15	5	5	5	15/30	15
4.45					
5.15	8	8	7	23/30	23
5.45					
6.15	9	8	12	29/30	29
6.45					
7.15	6	9	12	27/30	27
7.45					
8.15	11	10	17	38/30	38
8.45					
9.15	16	13	13	42/30	42
9.45					
10.15	11	13	19	43/30	43
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		0.80	1-1		物理	
		1.40 1.65	1-2	⊖	物理	
		1.95 2.25	1-3	⊖	物理	
		2.45				
		4.15	1-4	⊖	物理	02/27
		4.45				
		7.15	1-5	⊖	物理	
		7.45				
		9.15	1-6	⊖	物理	
		9.45				02/28